

北海道読書推進運動協議会

# 北読進協だより

第23号



お話会「カッコウ」(優良読書グループ表彰(全国表彰)受賞)

## - 平成23年度優良読書グループ特集 -

全国表彰

北海道表彰

北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞

主催：(社)読書推進運動協議会

主催：北海道読書推進運動協議会

主催：北海道読書推進運動協議会

— はじめに —

社団法人読書推進運動協議会は、読書推進団体の草分けで、昭和43年から「読書週間」にあわせた「優良読書グループ表彰」（全国表彰）を主催して各都道府県から1グループずつ表彰しています。

北海道読書推進運動協議会では、この全国表彰への推薦団体の選考に合わせて、昭和62年度から、地域で活躍する読書グループを会独自に表彰する「北海道表彰」を実施しています。平成17年度からは、財団法人北海道地域活動振興協会理事長賞も創設し、今年度は合わせて9グループを表彰しました。

本号では、受賞グループの寄稿文を紹介します。

<過去3年間に表彰を受けた読書グループ>

年度	表 彰	管 内	市町村名	受賞グループ名
H23	全 国	十勝	上士幌町	お話会「カッコウ」
		石狩	千歳市	すみれ文庫
	北海道	渡島	鹿部町	読み聞かせサークル「ひまわり」
		上川	富良野市	学校読み聞かせクラブ
		上川	和寒町	ポコ・ア・ポコ
		十勝	帯広市	大空文庫の会
		北海道地域活動振興協会理事長賞	後志	黒松内町
	胆振		登別市	おはなしりぼん
	渡島		北斗市	うさぎのみみちゃん
H22	全 国	胆振	苫小牧市	苫小牧子ども本の会
	北海道	石狩	千歳市	日曜おはなし会しやぼんだま
		渡島	福島町	新婦人福島支部よみきかせのかい
		十勝	音更町	音更町図書館「すずらの会」
		胆振	壮瞥町	読み聞かせボランティア「ひだまりの会」
		オホーツク	美幌町	いろりの会
	北海道地域活動振興協会理事長賞	空知	滝川市	滝川第三小学校図書ボランティア
		留萌	遠別町	遠別町読み聞かせボランティア「ぐう・ちよき・ぱあ」
		宗谷	稚内市	わっかない図書館友の会
		十勝	更別村	おはなしを楽しむ会おひさま
H21	全 国	釧路	弟子屈町	絵本の会おはなしはらっぱ
	北海道	石狩	恵庭市	おもちゃばこ
		檜山	厚沢部町	お話ポケット
		空知	滝川市	東小学校PTA読み聞かせボランティア「おはなしの会」
		十勝	池田町	E本よもう！ どんねこ倶楽部
		釧路	釧路市	おはなしポケット
	北海道地域活動振興協会理事長賞	石狩	当別町	絵本交流会
		檜山	今金町	マザーズぽけっと
		空知	月形町	おはなしじゃんけんぽん

全国表彰（主催：社団法人読書推進運動協議会）

## お話会「カッコウ」

十勝管内 上士幌町

### <団体の概要>

設立年 昭和60年 会員数 7名  
代表者 山下 京子 平成10年度北海道表彰受賞

### 【始まりとこれまで】

昭和60年7月、「子どもたちに絵本と親しむ場を提供しよう」と、町内の主婦5人が集まって会が誕生しました。若かったこともありますが、いきなり「お話会」と、その延長線にある活動として認識していた「人形劇」との二本立てで、活動を始めました。

お話会は、町に図書館ができるまで7年間、図書室がある児童会館と、遠隔地の集会所で毎週実施しました。当時、集会所のある地区は児童が多く、図書室の本を運び込んでの移動図書館も兼ねていました。

手づくりの人形劇は、手探りながら、会の発足年には早くも第一回公演を行いました。読み聞かせや人形劇で子どもたちが目を輝かせて参加してくれることに喜びを感じたものです。

平成4年、私たちが熱望した町立図書館がオープンし、お話の部屋も設置されたことにより、お話会の活動の場は図書館に移りました。

その頃の人形劇は、毎年9月に開催する「ジャンボ紙芝居作り」で、子どもたちと作った紙芝居の披露も兼ねて、11月の「人形劇とお話会」で発表していました。図書館と併設されたホールが満席になるほど町の人が集まって応援してくださり、励まされたものです。残念ながらこの公演は、平成16年の20回公演を最後に休演中です。

### 【これから】

お話会は、会員が年を重ねた分、図書館での回数は減りましたが、新たに小学校での読み聞かせ活動が加わりました。発足当初は自分の子どもの年齢層が対象でしたが、小学校で自分の孫が級友たちと読み聞かせに参加している姿を見ると、本当に月日の流れの早さを感じます。



26年という長い歳月を活動し続けられたのも、私たち自身が活動と絵本を楽しむことができたからだと思います。26年の間には、会員それぞれが家庭的な悩みを持った時期もありました。しかし、仲間がいたからこそ、各自が問題を乗り越えることができたと考えています。仲間のありがたさを強く感じます。

そんな私たちを結びつけた絵本には、優しさや思いやりなど、人として大切なことがいっぱい詰まっています。だからこそ子どもたちに、これからも素晴らしい絵本の世界を伝えていきます。

北海道表彰

## すみれ文庫

石狩管内 千歳市

<団体の概要>

設立年 昭和63年 会員数 16名

代表者 前田 はるみ

### 【発足】

市内から少し離れたところにある向陽台地区。

新興住宅地で図書館が遠い・・・、子どもたちが大きくなり、家に眠っている本をなんとかしたいと思った人たちが発起人となり、向陽台に図書室をつくりたい！！とがんばり、1988年4月、地域文庫として向陽台コミュニティセンター2階にオープンしました。

### 【活動の内容】

- 開庫日（毎週水曜日、第3火曜日）の当番、書架の整理、本の登録と抹消。
- 2か月に一度、市立図書館からの借用本のチェック
- 向陽台夏祭り、向陽台文化祭への参加。
- 近隣小学校へのお出前お話し会。 一など。



### 【これから】

開庫から20年以上たち、今回「北海道優良読書グループ」の表彰をいただきました。

すみれ文庫をつくってくださった先輩に感謝し、仲間とともに喜んでいきます。

「こんにちは～」と元気にきてくれる子どもたち、習い事の帰りに寄ってくれる子どもたち、お母さんと一緒に来てくれるちびっ子たち、本好きな向陽台の人たち・・・。

一緒に折り紙をしたり、本を選びながらのおしゃべりも楽しい。お茶とお菓子もあつたらもっと楽しいかもしれません。



そんな文庫になるにはどうしたらいいのかを考えつつ、これからもたくさんの人たちにきてもらえるように、愛されるように、みんなですみれ文庫を育てていきたいと思っています。

ひとつ、心配事が・・・。運営委員の仲間も高齢化・・・。若い仲間がもっと増えていくといいなあ～と思います。

北海道表彰

## 読み聞かせサークル「ひまわり」

渡島管内 鹿部町

### <団体の概要>

設立年 平成 11 年 会員数 9名

代表者 吉田 緋佐代

### 【始まり】

「本を読むのが好き」、「子どもが好き」という思いで、13年目を迎えています。



会員の中の8人が配偶者の定年退職に伴い、道外から鹿部リゾートへ移住してきたものです。

そのせいか、居住地周辺には高齢者ばかりで子どもの姿を見かけることはあまりありません。

活動先で「こんにちは」「ありがとう」の元気な子どもの笑顔と声に出会うとうれしくて……。活力になっております。

### 【活動の内容】

月1回の中央公民館図書室での定例読み聞かせ、町主催のバンビ教室、町民文化祭、鹿部小学校の朝読の会、函館市立臼尻小学校での読み聞かせなどを続けています。

12年間のうち、子ども0人のときもありました。そのときは心が重く沈みましたが、幾度も失敗しながら、相談し、挑戦し続けました。

現在は、子どもたちに開催日を知らせるため、半年分のポスターを兼ねたチラシをつくっています。

まず、A3版の用紙を6分割し、1コマに1月分、1面に6ヶ月分の事業を記載します。教育委員会の協力を得て、A3版用紙をさらに拡大し、ポスターとして小学校、幼稚園、公民館に掲示します。また、1月ごとに裁断したものはチラシになります。開催1週間前頃に、幼稚園児や小学校の児童に1枚ずつ配布します。

読む本は季節や行事、対象年齢を考えて、各会員が選びます。終了後、好評だった本は記録の備考欄へ記入。後日、参考になりますね。

現在育児中のお母さん（お父さんも）方の参加がなく、待ちわびていますが、鹿部町は漁業関係の方が多いので毎日忙しいのでしょうね。これがチョッピリ悩み！

会員たちは、歳を重ねるとともに「味わいある読み」ができるのでは……。頑張るぞ。



北海道表彰

## 学校読み聞かせクラブ

上川管内 富良野市

### <団体の概要>

設立年 平成 14 年 会員数 8名  
代表者 望月 睦

### 【グループの始まり】

絵本好きのママ友サークル「ちびソ  
ンタン」として発足。

学校支援地域本部事業によるボラン  
ティア登録が始まったのを機に、読み  
聞かせボランティアの情報交流の場と  
して、名称も「学校読み聞かせクラブ」  
に改称しました。



### 【活動の内容】

学校読み聞かせクラブは、読み聞かせをするグループではなく、各学校で読み聞かせを  
しているボランティアの情報交換と勉強の会です。

毎月第3木曜日に市立図書館のサークル室に集まり、絵本選びや読み聞かせの情報交換  
をしています。

「この絵本を読んだときに子どもがこんな反応をした」、「この絵本を読みたいが、何年  
生くらいがいいか」、「読み聞かせデビューをします」など、読み聞かせにまつわる話題で  
いつもにぎやかです。その中から、ボランティアに人気の絵本を所蔵してもらうよう、図  
書館にグループとしてリクエストするなどしています。

また、ボランティアのニーズに合わせた研修会を行ったり、おすすめ本のガイドブック  
を作成などを行っています。

ここ2年間は、最近出版された絵本を中心にテーマ別  
に絵本を集めて紹介してきました。絵本の選定は各学校  
の当番制で、絵本を集める作業は市立図書館に協力して  
いただいています。メンバーは、サークル室に来たとき  
にここから本を選び、学校での活動に使っています。



### 【これから】

最初に読み聞かせを始めたメンバーのお子さんも小学校を卒業し始めていることから、  
世代交代の時期にさしかかっています。

もう一度初心に帰って、読み聞かせについての講座を設けていこうと相談しています。

また、へき地校など、ボランティアの協力を得にくい学校にどのようにアプローチして  
くのか、学校や市立図書館との協力体制を模索しています。

さらに、24年度からは、教科書に載っている絵本や本を集めて勉強を始める予定です。

北海道表彰

## ポコ・ア・ポコ

上川管内 和寒町

### <団体の概要>

設立年 平成6年 会員数 6名  
代表者 加藤 尚子

### 【グループの始まり】

和寒町立図書館のオープンと同じ、平成6年に発足しました。

現在は初期メンバーから引き継いだ2代目メンバー6人が、日々積極的に読み聞かせ活動をしています。

### 【活動の内容】

毎月第1土曜日の赤ちゃんおはなし会と、第3土曜日に定例のおはなし会を、図書館の幼児コーナーで行っています。

おはなし会では、絵本3～4冊と大型絵本、紙芝居を選び、その場に応じた読み聞かせを心がけています。

子どもたちの真剣なまなざしや「おもしろかった」の声、私たちのやりがいとなっています。

その他、ハロウィンおはなし会、クリスマス会など年2回程度のイベントを開催しています。イベントでは、パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、手遊び等を取り入れながら、子どもたちと楽しく行っています。



### 【これから】

これからもメンバー同士、楽しみながら活動していきたいです。

そして、多くの子どもたちはもちろん、子育て中のお父さんお母さん方に絵本を読む楽しさ、喜びを知ってもらえるよう、活動を充実していきたいと思います。

北海道表彰

## 大空文庫の会

十勝管内 帯広市

<団体の概要>

設立年 昭和 55 年 会員数 14 名  
代表者 田島 光子

### 【発足】

人口1万人ほどの新しい団地「大空町」ができて数年後、市図書館から10キロ近く離れたこの地区で「ひとりでも多くの人に一冊でも多くの本を」との市図書館からの呼びかけに、小学校のPTA活動をきっかけに「放課後の子どもたちが自由に入出りできる場所がほしい。本を好きになってほしい」との思いで集まった24名で発足しました。

自分たちで集めた本と市図書館から毎月配本される本、合わせて約5千冊で大空会館別館に「大空市民文庫」を開設しました。

### 【活動内容】

発足以来、毎週土曜日午後1時から5時まで、本の貸出しを32年間休むことなく続けています。毎月第一火曜日には、市の移動図書館バス「ナウマン号」から200冊の本を入れ替え、その後、例会を開きます。

この他、地域の小学校の朝10分間の読み聞かせなど、帯広図書館友の会の一員として、図書交換会、図書館まつり、子どものつどいなどの事業に協力しています。

初めは子ども中心でしたが、現在は図書館までなかなか行けない高齢者や各世代にも人気です。訪れる子どもたちに読み聞かせをしたり、話相手になったり、勉強の手伝いをすることもあります。平成23年度の利用者数は1,083人、貸出数は4,449冊でした。

「ここでのおしゃべりが楽しみ。ここに来ると元気になるの。」と喜んでくださる方々。

「ここがあったから子どもが本を大好きになりました」と挨拶してくれた、転勤で帯広を離れる親子。「私、誰かわかる？」と顔を見せてくれたかつての子どもの成長ぶり。

かつて通っていた子どもが我が子を連れてきたり、小学校の読み聞かせのメンバーに参加したと聞くと、「つながっている」ことを実感し、活動を続けていて本当によかったと幸せになります。

### 【これから】

本と子どもが大好きな30代から60代のメンバーが「無理をしないで」を合い言葉にできるときにできることをやってきました。

基礎をつくってくれた先輩会員、支え応援して下さる地域の方々、全面的に協力して下さる帯広市図書館に感謝し

つつ…。「ここを必要としている人がいる限り変わることなく続けたいネー」とみんなで話し合っています。





北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞

## ふれあいの森情報館友の会

後志管内 黒松内町

### <団体の概要>

設立年 平成 14 年 会員数 34 名  
代表者 土肥 薫

### 【グループの始まり】

黒松内町に「図書館機能を有した交流施設（ふれあいの森情報館）」が建設されることになり、啓発活動の一環として絵本作家みやにしたつやさんの講演会を開催しました。

その際にお手伝いしてくれた人たちを中心に「情報館友の会」を結成（その後、会員は随時募集）。お話し会やイベント活動のほか、図書館のカウンター業務なども行っています。

### 【活動の内容】

情報館で月 1 回、幼児と小学生を対象にした読み聞かせ会を開催しているほか、小学校にも「出張お話し会」として出向き、読み聞かせを行っています。

そのほかに情報館で行う各イベント（読書まつりやクリスマス会、夏休み冬休みの子ども向け工作教室等・・・）を、町の教育委員会と連携して行っています。

また大人向けにも「切り紙教室」や「手芸教室」などの教室を行っています。

図書の選定にも関わっており、年 2 回ほど図書の買付けがあります。



### 【これから】

私たち「情報館友の会」のメンバーは 20 代～70 代という幅広い年齢で構成されていて、それぞれの得意分野を生かして活動に参加しています。

読み聞かせが上手だったり、手先が器用だったり、パソコンが得意だったり、子どもが大好きだったり、絵が上手だったり・・・。

そんな個性溢れるメンバーが集まって、「情報館友の会」は楽しく活動しています。

情報館に行けば必ず誰かがいてイベントの準備をしていたり、他愛もないおしゃべりをしたり・・・そんなアットホームな雰囲気に溢れています。

今回の受賞を励みに、ますます元気に！楽しく！充実した活動を続けていきたいと思っています。

北海道表彰・北海道地域活動振興協会理事長賞

## おはなしりぼん

胆振管内 登別市

### <団体の概要>

設立年 平成 17 年 会員数 9 名  
代表者 松平 孝子

### 【会の発足】

一人の母親の子育て相談から、読み聞かせをして子どもの様子を見守ることに。

### 【活動場所と内容】

<鷺別小学校>第1・3第3木曜日、中休み時間の読み聞かせと巡回図書こぐま号のお手  
伝い

<鷺別中学校>毎週火・木曜日の昼休みと放課後に図書室でボランティア。装飾や書架  
整理等の環境整備を通して生徒とふれあう

<老人施設アンデルセン>月2回第1・第3月曜日入居の方々と朗読会及びかるやか体  
操

<近隣児童館>第3土曜日に読み聞かせ

<鷺別保育所>年1回、お誕生会またはクリ  
スマス会に、読み聞かせやパネルシアタ  
ー、エプロンシアターで交流

<登別市図書館>年1回、図書館まつりに参加



### 【活動のようす】

絵本や物語を多くの人に紹介し、その楽しさ素晴らしさをともに味わい、豊かな心を育  
てる一助になるよう読み聞かせ活動をしています。

まず、手話で「みなさんこんにちは、おはなしりぼんです」と挨拶をします。

小学生にはまだ早いかと思われた「蜘蛛の糸」のパネルシアターを演じたときは、3年  
生の女の子に100点をもらいました。

中学3年生の卒業祝いには、出版社の協力により作者のいとうひろし氏から許可をいた  
だき、「だいじょうぶだいじょうぶ」のパネルシアターを演じています。

「3匹のやぎのがらがらどん」は、トルルがばらばらになり、子どもたちをびっくりさ  
せる工夫を楽しんでいます。

「あらしの夜」、「じごくのそうべえ」など、掛けあい朗読を中心に活動しています。

### 【今後の抱負】

表彰をしていただき、思いもかけなかった図書券、有意義に使わせていただきます。

子どもたちの笑顔や待っていてくれるお年寄りの方と、ともに楽しみ、成長していき  
たいと願っています。

子どもたちが親になったとき、この活動に参加してくれることを望んでいます。

## うさぎのみみちゃん

渡島管内 北斗市

### <団体の概要>

設立年 平成 16年 会員数 8名

代表者 西谷 真由美

### 【発足】

平成16年に、2名で、自分の子どもや近所の親子に読んであげたことが始まりです。

「読み聞かせ会」の形をとった初めての舞台は子育て支援センターで、親子30名が集まりました。とても緊張しましたが、子どもたちの表情豊かな満面の笑顔に感動。私自身とても楽しくてはまってしまいました。

その後、住民センターなどで毎月読み聞かせをし、子どもをとおしてお友達になった「ママ友だち」に手伝っていただいているうちに仲間が増え、今は8名です。すばらしい仲間です。

以前に幼稚園の先生をされていたという近所の女性に読み聞かせをすると話すと、大きな手づくりのうさぎの人形を貸してくれました。

グループ名の由来、うさぎのみみちゃんマスコット人形です。

### 【主な活動】

平成17年12月から市立図書館の読書普及事業に協力して、各小学校区で月1回「おはなしひろば」を行っています。また、子育て支援センターに協力して月1回の読み聞かせを開催しています。



その他、児童クラブ、保育園、小学校からも開催要請が多く、活動の場が広がっています。

絵本ばかりではなく、マスコット人形（うさぎのみみちゃん）を使って子どもたちにあいさつしたり、紙芝居、手遊び歌、手づくりのパネルシアター、ペープサート、ゲームなどを用いて「お話の楽しさ」を伝える努力をしています。

### 【これから】

仕事をしているメンバーがほとんどで、主婦、子育てと忙しい中上手に時間をつくって活動しています。主婦の「ママ友達」から始まったグループです。ここまで続けることができたのも、みみちゃんを応援して下さる図書館を始め支援センターの先生、支えてくださった方のおかげだと心より感謝しております。

これからも地域に根ざした活動を通じて、地域の子どもたちに絵本の魅力、楽しさを伝えていきたいと思っています。



---

## 北読進協だより 第23号

発行年月日 平成24年5月11日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館総務企画部企画支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063 (総務企画部直通)

---

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、（社）読書推進運動協議会発足の翌年、昭和35年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。